

住民座談会を開催しました

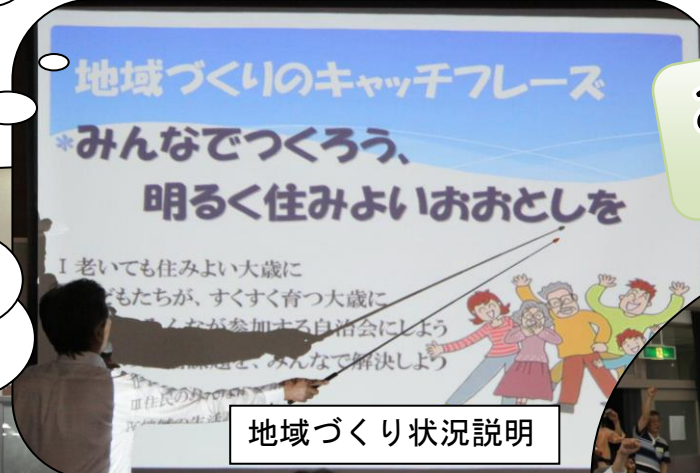
～みんなで作ろう、明るく住みよいおおとしを～



アドバイザー：船崎美智子さん
山口きらめき財団派遣講師

1日目テーマ
「こうすればもっと大歳がよくなる」
について話し合う。

2日目テーマ
分野ごとに大歳地区の課題や意見を出し合う。



地域づくり状況説明

みんな大歳が好きなんだ!



元気な大歳
目指して
頑張るぞー
おー!

老いも若きもみんな
一緒になって話せば
気持ちは通じるね!

5つの分野ごとにおこなった話し合いでは沢山の熱い思いが語られました。
*内容は裏面をご覧ください。



班ごとに発表しました。

みんなで行事にもっと参加しようよ!

子どもや赤ちゃんが主役になれる競技や行事を増やそうや!

まちづくりの主役はあなたです!

5月15日(水)と22日(水)の2回にわたり開催。毎回約80名の方の参加があり、自由な雰囲気の中で、みんなで意見を出し合いました。

その中で、見えてきた課題等を参考にして、今年度中に第2次地域づくり活動計画(計画期間:平成26年度～30年度)を策定していきます。

大歳はまつりや三世代交流など色々やってるよね～!

参加してみたら知らない人ばかりだったけど「みんな大歳が大好きなんだ」と感じてうれしくなったよ!



1日目の宿題のポストイット(自由に意見を書くメモ紙)による地域課題の書き出し。沢山の意見や気づきが出ました。

大歳のみ～んなが参加できる事ってなんかないかねえ? やってみようや!

思っていることを一杯言ってみようや!



住民座談会で出た課題等



<住民の生活安全>

～安心安全分野～

- ・防犯灯が少なく、夜間暗いところがある
- ・高齢者が車を運転せざるを得ない事情がある
- ・高齢者の交通安全対策が必要
- ・通学路となる幹線道路が一つしかない
- ・通学路が狭く、危険である
- ・子どもの交通マナーが守られていない
- ・働く親が増えて、見守りが困難になっている
- ・立哨以外に計画がない(見守りが不十分)
- ・交通量が多く、制限速度が守られていない
- ・安全パトロールは地域の色々な団体が各々実施し、地区全体として取り組んでいない
- ・交通安全旗が設置されていない
- ・車両の通行量が増えており、渋滞の緩和が必要
- ・車道の拡幅が必要な道路がある
- ・近くに避難場所がない
- ・避難するのに二次災害が心配である
- ・避難場所までの安全な経路がわからない
- ・危険な場所の情報集積が必要
- ・日常の声かけがされていない

<地域のふれあいづくり>

～地域個性創出分野～

- ・部会同士の情報共有ができていない
- ・敬老会の見直し(方法・内容)が必要
- ・単位自治会での開催ができるのではないかと
- ・大歳地区の歴史を知らない
- ・大歳地区の歴史が子どもに伝わっていない
- ・歴史を知ること、愛着がわくのではないかと
- ・大歳の名所が少ない
- ・交流列車おおとしが知られていない
- ・交流列車おおとしが活用されていない

<地域の悩みを聞く> ～地域振興分野～

- ・地域づくりに若い人が参加しにくい
- ・住民が地域づくりに関心がなく、参加していない
- ・がんばっている人が評価されていない
- ・自治会の活動に無関心な人が多く、理解されていない
- ・自治会長の仕事が多い
- ・自治会長が1年で交代する自治会が多い
- ・役員のなり手がいない
- ・参加者が固定化している
- ・近所付き合いが減っている
- ・自治会員や役員が高齢化している
- ・若い人は子育てや仕事もあり、活動に参加できないことが多い
- ・自治会の加入率が下がっている
- ・自治会活動に苦痛を感じる人もいる
- ・自治会会員同士の交流が少ない
- ・自治会内のことを住民が知らない
- ・子ども会に入らない世帯や子ども会のない自治会が増えている
- ・子ども会の活動が理解されていない
- ・子どもが活躍する場がない
- ・取材協力が得られない
- ・紙面について住民からの意見等を聞いていない
- ・大歳のことを知らない
- ・地域の情報に関心が低い
- ・情報発信ができていない
- ・施設の案内標示板がない
- ・かわら版が読まれていない
- ・高齢者の技能が活用されていない
- ・地域の中で人材がいるはずだが、なかなか見つからない
- ・人材はいるが、参加してもらえない
- ・後継者がいない
- ・人材を育てる機能がない
- ・笑顔で明るいあいさつができていない
- ・コミュニティバスの路線がニーズと合致していない
- ・交流センターの機能を充実してほしい
- ・高齢者に必要な支援が届いていない
- ・高齢者支援サービスを拡充してほしい
- ・高齢者が今後増加する
- ・高齢者の見守りが必要である
- ・高齢者と地域とのつながりが薄くなっている
- ・空き家が放置され、生活環境が悪化している
- ・災害に対する備えが必要
- ・災害の記憶が薄れている
- ・行政に要望が必要
- ・地域を盛り上げるため、新たな地域行事の取り組みが必要
- ・休耕田が増えている
- ・開発や再開発が進まない



※内容が同じ意見はまとめさせていただきました。

～ たくさんのご意見ありがとうございました。～

<人への思いやり>

～地域福祉分野～

- ・高齢者の交流の場が少ない
- ・高齢者の活躍の場が少ない
- ・高齢者が集う機会が少ない
- ・子どもが安心して遊ぶ場所・施設がない
- ・行事を企画しても参加者が少ない
- ・参加者が固定化している
- ・イベントが重複している
- ・地域行事の見直しが必要
- ・参加しやすい取組みが必要(子供と一緒に連れていけるように)
- ・民生委員がわからない



<地域の環境美化>

～環境づくり分野～

- ・ごみやタバコをポイ捨てする人がいる
- ・ゴミが道や川にある
- ・ゴミ出しのマナーが守られていない
- ・ゴミ出しのルールが理解されていない
- ・一斉清掃の充実が必要
- ・地域の清掃活動が十分でない
- ・市道の草を刈る人に援助が必要
- ・草刈り隊の人数が少ない
- ・草刈りの場所の拡大が必要
- ・ペットのマナーが守られていない
- ・散歩のマナーが悪い
- ・ペットの糞が持ち帰られていない
- ・環境美化の啓発活動が少ない
- ・夜間のバイクの騒音がうるさい
- ・街並みが殺風景
- ・地区内に花が少ない

